

先進急性期医療センターに入院された患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 生体侵襲に伴う生体反応と臓器不全の研究
(血小板・凝固線溶反応と補体経路に関して)

[研究機関] 北海道大学病院先進急性期医療センター

[研究責任者] 丸藤 哲 (先進急性期医療センター・部長)

[研究の目的] 外傷、感染症(敗血症)、心臓が止まり蘇生された(これらを生体侵襲と言います)患者さんの血液の中の物質(DAMPs、血小板、凝固線溶系と補体)がどのように病気の予後に影響を与えるかを検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

外傷、感染症(敗血症)、心臓が止まり蘇生された患者さんで、平成15年5月1日から平成20年3月31日の間に先進急性期医療センター(旧救急部・集中治療部)で入院治療を受けた方。その際、血液の提供とその保管に同意された年齢が12歳以上90歳未満の方。

●利用する検体およびカルテ情報

以前に研究用として採取し保管することに同意いただいた血液検体。

カルテ情報

- ①患者基本情報：年齢、性別、体重
- ②疾患情報：疾患名、手術名、治療内容
- ③血液検査結果：血液、血小板・凝固線溶系指標、肝機能、腎機能、電解質、重症度スコア関連指標

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡下さい。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院先進急性期医療センター 担当医師 丸藤 哲

電話 011-706-5997 FAX 011-706-7378